



脳とリハビリ研究所（CBR）脳卒中セミナー Ver. 1.1

脳卒中片麻痺の感覚運動表象とリハビリテーション

2015年3月1日（日）

神戸学院大学有瀬キャンパス

主催：脳とリハビリ研究所

運営：株式会社ステラマインド

## 講師プロフィール

### 坂本 年将

神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学専攻 准教授



【プロフィール】1989年3月神戸大学医療技術短期大学部卒業。同年4月より同大医学部附属病院理学療法士。股関節の臨床研究に従事する。1994年ニューヨーク州立大学修士課程（専攻：exercise physiology）に留学。1995年ニューヨーク州理学療法士免許取得。1997年コロンビア大学生物行動学科修士課程に転学。運動制御・運動学習理論を修める（MA；専攻：運動学習）。1998年MIT脳認知科学科博士課程に進学。脳科学・認知科学を幅広く学ぶと共に、関連づけ学習の神経生物学的研究に従事する。2004年PhD（専攻：神経科学）。2007年4月より現職。脳とリハビリ研究所（CBR）ディレクター。神戸学院大学ニューロ・エデュケーション研究室主宰。当セミナーでは脳卒中片麻痺に関わる神経科学の基礎を担当する。

### 山崎 倫

松山リハビリテーション病院 理学療法士



【プロフィール】平成13年3月愛媛十全医療学院卒業。同年4月医療法人財団慈強会松山リハビリテーション病院入職。現在、同院理学療法科主任理学療法士。回復期リハ病棟での臨床に10年以上携わっており、セラピストの使命としてより効果的で効率的、そして患者に優しいリハビリテーションの提供が必要であると考え。過去数年、患者の身体運動に関わる心的表象に関心を持ち、日々、理学療法への応用を試みている。CBRディレクター坂本年将との共同研究において、脳卒中患者のさまざまな感覚運動障害に対し、視覚を介した表象形成の効果とそのメカニズムの解明に取り組む。認知運動療法士。CBRアソシエイトフェロー。当セミナーでは臨床講義ならびにミラーセラピー等の治療演習を担当する。

## プログラム

10:00～10:30 開場・受付

10:30～11:30

脳卒中片麻痺のニューロサイエンス（坂本）

11:30～12:30

脳卒中片麻痺の感覚運動表象とその評価（山崎）

12:30～13:30 休憩

13:30～14:30

脳内身体表象形成のメカニズムとニューロ・エデュケーション（坂本）

14:30～15:30

脳卒中片麻痺における感覚運動表象の再構築（山崎）

15:30～15:45 休憩

15:45～16:45

テクニカル講座：身体観察法を用いた感覚運動表象の再構築  
～ビデオ観察法とミラーセラピーの実際～（山崎・坂本）

16:45～17:00

CBR 脳卒中ニューロリハ研究会のご案内（坂本）

17:00 閉会